

大垣市第 2 次教育振興基本計画 分野別振興計画
令和6年度実施状況報告書

令和 7 年 9 月

大垣市教育委員会

目 次

1	大垣市教育振興基本計画	1
2	学校教育	11
3	社会教育	31
4	文化振興	43
5	図書館活用	66
6	スポーツ推進	79

1 大垣市第2次教育振興基本計画

(1) 趣旨

平成22年に策定した「大垣市教育振興基本方針」を改訂し、これからの10年を見据えた「大垣市第2次教育振興基本計画」を令和2年に策定しました。

「夢や目標の実現にむけて、学び挑戦できる人」の育成など、普遍的な教育の姿を大切にしながら、「多様性の受容」など時代の変化に合わせた教育も推進し、次代を拓くことができる人づくりを目指していきます。

(2) 期間

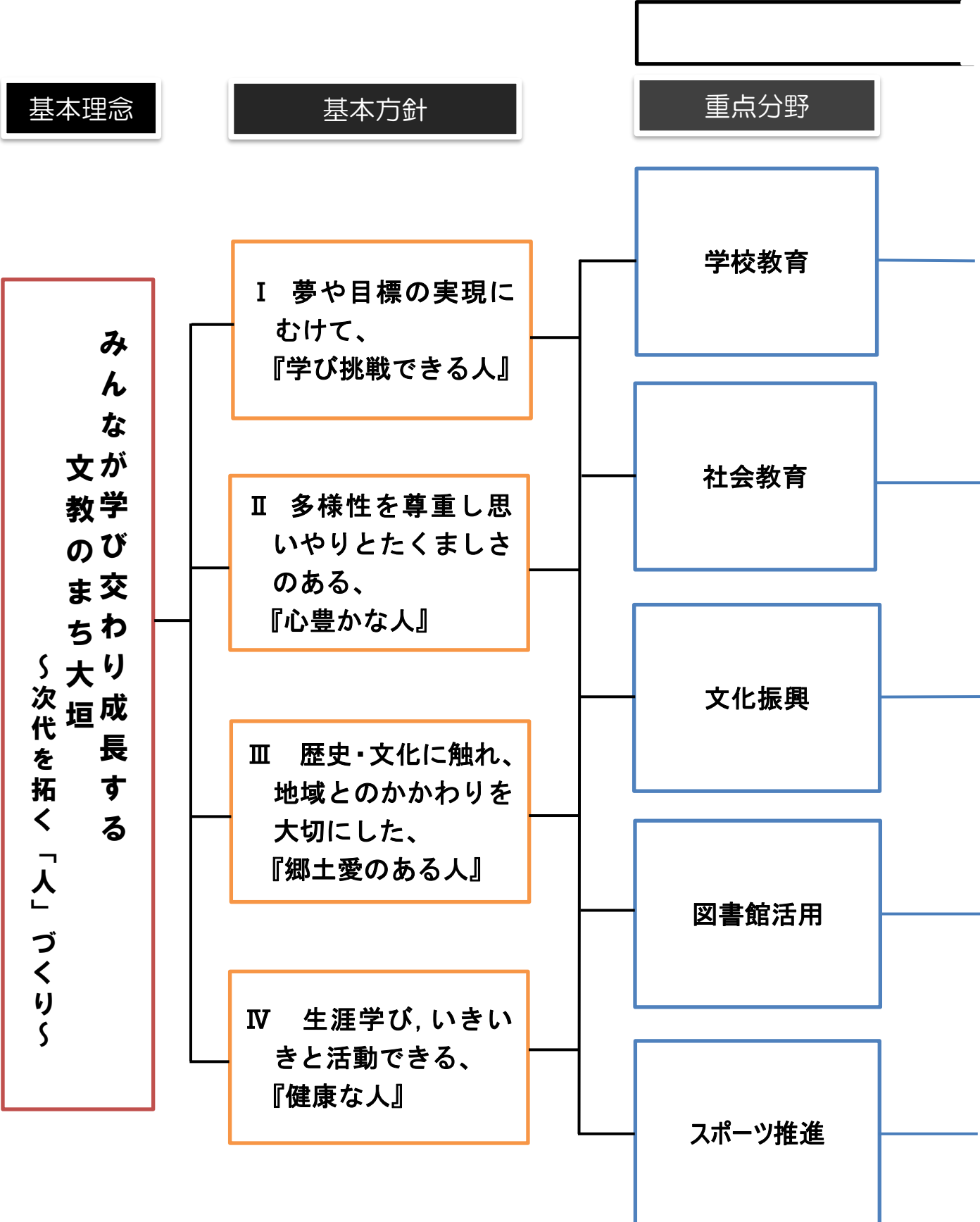
大垣市第2次教育振興基本計画の基本理念・基本方針の計画期間は、令和2年から10年間で、分野別振興計画の基本目標・基本施策の計画期間は、令和2年から5年間です。令和6年度は、分野別振興計画の5年目にあたります。

(3) 基本理念

みんなが学び交わり成長する 文教のまち大垣 ～次代を拓く「人」づくり～

(4) 基本方針

- I 夢や目標の実現にむけて、学び挑戦できる人
- II 多様性を尊重し思いやりとたくましさのある、心豊かな人
- III 歴史・文化に触れ、地域とのかかわりを大切にした、郷土愛のある人
- IV 生涯学び、いきいきと活動できる、健康な人



分野別振興計画

基本目標

- 1 主体的な学びを推進し、確かな学力を身に付けた子どもを育成します
- 2 多様な人々との協働を促し、思いやりの心を持ち、共に支え合う子どもを育成します
- 3 グローバル化に対応した教育を推進し、ふるさとに愛着と誇りをもつ子どもを育成します
- 4 豊かな学びを支える教育環境を整備し、いきいきと活動できる子どもを育成します

- 1 地域づくりを推進し、学び挑戦できる人づくりをめざします
- 2 よさを認め尊重し合う活動を推進し、思いやりのある心豊かな人づくりをめざします
- 3 地域との絆づくりを大切にする活動を充実し、郷土に誇りをもって生きる人づくりをめざします
- 4 興味・関心に応じて学び合える環境を整備し、いきいきと活動できる人づくりをめざします

- 1 文化芸術活動を充実し、豊かな創造力を育む人づくりをめざします
- 2 文化の相互交流を通して、多様な文化芸術を理解する人づくりをめざします
- 3 郷土の文化財や伝統文化の保護・継承を通して、ふるさとに愛着と誇りをもてる人づくりをめざします
- 4 文化芸術に取り組める環境を整え、いきいきと活動できる人づくりをめざします

- 1 読書活動を推進し、夢に向かって挑戦し努力する人づくりをめざします
- 2 図書館サービスを充実し、多様化する社会を心豊かに生きる人づくりをめざします
- 3 郷土資料の活用を推進し、郷土愛のある人づくりをめざします
- 4 魅力ある資料や情報を提供し、かがやき続ける人づくりをめざします

- 1 スポーツ活動を充実し、夢や目標に向かって挑戦する人づくりをめざします
- 2 スポーツを通じた交流の場を提供し、互いに認め合う、心豊かな人づくりをめざします
- 3 地域に根ざしたスポーツ活動を推進し、郷土愛のある人づくりをめざします
- 4 スポーツができる環境を整備し、生涯いきいきとスポーツする健康な人づくりをめざします

2 大垣市第2次教育振興基本計画の評価について

(1) 趣 旨

本計画に基づき、着実に教育行政を推進するため、毎年、実施状況进行评估するとともに、計画の進行管理を行います。

また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価をあわせて行います。

(2) 評価方法

- ① 基本計画の重点分野ごとに対応する指標及び目標値を設定し、目標値に対する実績の達成度で自己評価を実施します。
- ② 外部評価として大垣市教育振興基本計画評価委員会の意見を参考に施策ごとの総合評価を決定し、評価委員会での意見を今後の取り組みに活用します。
- ③ 教育委員会の開催実績や教育委員の活動について報告し、意見を求めます。

(3) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする

3 大垣市第2次教育振興基本計画の分野別振興計画（令和6年度）の評価について

(1) 分野別振興計画 総合評価一覧（令和6年度）

重点分野	A	B	C	D	計
学校教育	1	3	0	0	4
社会教育	1	2	0	1	4
文化振興	0	3	1	0	4
図書館活用	1	3	0	0	4
スポーツ推進	2	1	1	0	4
計	5	12	2	1	20

(2) 評価方法

自己評価	目標に対する実績の達成率でA、B、C、Dの4段階で評価	
	A：目標達成	B：達成率 80%以上
	C：達成率 70%以上	D：達成率 70%未満

総合評価	A、B、C、Dの4段階で評価	
	A：順調に達成している	B：概ね順調に達成している
	C：達成に向け課題がある	D：順調でない

重点分野			
基本目標			
指標			
学校教育		自己評価	総合評価
① 主体的な学びを推進し、確かな学力を身に付けた子どもを育成します			
1 授業では友達と相談したり、話し合ったりする機会がある子どもの割合（％）	A	A	
2 児童生徒のＩＣＴ活用を指導できる教員の割合（％）	A		
② 多様な人々との協働を促し、思いやりの心を持ち、共に支え合う子どもを育成します			
1 自分から進んであいさつをしている子どもの割合（％）	B	B	
2 いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている子どもの割合（％）	B		
③ グローバル化に対応した教育を推進し、ふるさとに愛着と誇りをもつ子どもを育成します			
1 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思っている子どもの割合（％）	B	B	
2 G T E CのA1 レベル相当以上の英語力を有する中学２年生の割合（％）	A		
④ 豊かな学びを支える教育環境を整備し、いきいきと活動できる子どもを育成します			
1 運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合（％）	B	B	
2 １校あたりの地域人材を活用した人数（人）	A		

重点分野		
基本目標		
指標		
社会教育	自己評価	総合評価
① 地域づくりを推進し、学び挑戦できる人づくりをめざします		
1 社会教育主事養成人数（人）	A	A
2 地域社会教育推進事業におけるNPO等との連携件数（件）	A	
② よさを認め尊重し合う活動を推進し、思いやりのある心豊かな人づくりをめざします		
1 家庭教育支援スタッフの委嘱数（人）	B	B
2 「子ども会リーダースクール」及び「ジュニアリーダー育成研修」の参加人数（人）	A	
③ 地域との絆づくりを大切にする活動を充実し、郷土に誇りをもって生きる人づくりをめざします		
1 「学校支援ボランティア」及び「大垣市教育支援人材バンク」の登録者延べ人数（人）	A	B
2 青少年健全育成研修会（ブロック研修会）の参加者数（人）	B	
④ 興味・関心に応じて学び合える環境を整備し、いきいきと活動できる人づくりをめざします		
1 「スイトピア子どもクラブ」の受講者数（人）	C	D
2 地域で行う学習会や研修会への講師派遣回数（回）	D	

重点分野		
基本目標		
指標		
文化振興	自己評価	総合評価
① 文化芸術活動を充実し、豊かな創造力を育むひとづくりをめざします		
1 子どもを対象とした事業数（件）	A	B
2 高校生以下の俳句投句数（句）	B	
② 文化の相互交流を通して、多様な文化芸術を理解する人づくりをめざします		
1 情報発信数（件）	A	B
2 伝統文化親子教室の実施団体数（団体）	B	
③ 郷土の文化財や伝統文化の保護・継承を通して、ふるさとに愛着と誇りを持てる人づくりをめざします		
1 歴史文化施設利用者数（人）	B	B
2 歴史文化施設での企画事業数（件）	A	
④ 文化芸術に取り組める環境を整え、いきいきと活動できる人づくりをめざします		
1 市民団体との協働数（件）	B	C
2 文化芸術関係施設利用者数（人）	C	

重点分野		
基本目標		
指標		
図書館活用	自己評価	総合評価
① 読書活動を推進し、夢に向かって挑戦し努力する人づくりをめざします		
1 貸出し冊数（冊）	A	A
2 児童書の貸出し冊数（冊）	A	
② 図書館サービスを充実し、多様化する社会を心豊かに生きる人づくりをめざします		
1 図書館ホームページアクセス件数（件）	A	B
2 外国人利用登録者数（人）	B	
3 予約図書の配本冊数（冊）	B	
③ 郷土資料の活用を推進し、郷土愛のある人づくりをめざします		
1 ふるさと歴史講座参加者数（人）	B	B
2 郷土資料デジタルライブラリー閲覧件数（人）	A	
④ 魅力ある資料や情報を提供し、かがやき続ける人づくりをめざします		
1 図書館利用目的達成度（％）	B	B
2 生活関連資料の貸出し冊数（冊）	B	

3 分野別振興計画の評価について

重点分野			
基本目標			
指標			
スポーツ推進		自己 評価	総合 評価
① スポーツ活動を充実し、夢や目標に向かって挑戦する人づくりをめざします			
1	小中学生スポーツ活動実施率（％）	A	A
2	全国・国際大会等への出場者数（件）	A	
② スポーツを通じた交流の場を提供し、互いに認め合う、心豊かな人づくりをめざします			
1	日本スポーツ協会公認指導者新資格の登録者数（人）	A	A
2	県民スポーツ大会での総合優勝の継続（位）	A	
③ 地域に根ざしたスポーツ活動を推進し、郷土愛のある人づくりをめざします			
1	コミュニティスポーツ参加者数（人）	D	C
2	意識的に運動（週１回以上）している人の割合（％）	A	
④ スポーツができる環境を整備し、生涯いきいきとスポーツする健康な人づくりをめざします			
1	スポーツ教室への参加者数（人）	B	B
2	体育施設の利用者数（学校体育施設を含む）（人）	B	

4 学校教育

基本目標 1	主体的な学びを推進し、確かな学力を身に付けた子どもを育成します
--------	---------------------------------

1 令和 6 年度事業計画

基本施策 1 各学校における学力向上

事業	計画	実績	
1 次代を拓く人づくり事業	「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育む教育活動を行い、次代を拓く人づくりの推進	地域と学校が連携し、学校ごとの特色を生かした事業を実施 ・小学校 18 校 ・中学校 9 校 ・義務教育学校 1 校	
2 研究指定校事業	小学校(※1) 教育における課題の研究及び実践	・学力向上 (日新小、荒崎小) ・小学校英語教育 (中川小) ・探究的な学び (上石津学園) ・教科指導 (興文小、東小)	新規
	中学校(※2) 教育における課題の研究及び実践	・学力向上 (星和中) ・探究的な学び (興文中) ・社会的自立を支える スキル育成 (江並中、西部中) ・教科指導 (興文中、東中)	新規

基本施策2 一人ひとりの学習状況に応じた学力向上の体制づくり

事業	計画	実績
1 水都っ子学習支援事業	小学校1、4年生及び5、6年生の30人以上の学級へ学習指導補助講師を配置	・1、4年生（19人） ・5、6年生（16人）
2 人件費 （GIGAスクール支援員事業）	小・中学校のタブレット端末を活用した授業づくりのための授業支援や研修等の実施	GIGAスクール支援員 （2人、100回訪問支援）
3 プログラミング教育推進事業	小・中学校の教科等におけるマイコンボード教材等を活用した授業の実施	・中学校技術：マイコンボード教材の活用 ・小学校：マイコンボード・ロボット教材、Scratchの活用 ・プログラミング教育支援員13人
4 文教団体育成支援事業	授業内容をより発展させた参加体験型学習会の開催支援	・わくわく算数アドベンチャー ・74人（3回開催）

基本施策3 保幼小連携・小中連携による学力向上の推進

事業	計画	実績
1 水都っ子学習支援事業（再掲）	小学校1、4年生及び5、6年生の30人以上の学級へ学習指導補助講師を配置	・1、4年生（19人） ・5、6年生（16人）
2 知能検査事業	入学前の子ども及び小学校2、6年生を対象とした知能検査の実施	・入学前（1,310人） ・2年生（1,286人） ・6年生（1,401人）

基本施策4 教員の指導力・資質向上

事業	計画	実績
1 教職員指導力向上研修事業	教職員の自己課題に応じた研修	・訪問研修Ⅰ（29人） ・訪問研修Ⅱ（12校）
2 教育振興一般経費	大垣市文教協会が実施する教職員研修への補助	・小学校教員英語指導力向上研修（24人）

※1「小学校」には、義務教育学校前期課程を含む。以降においても同様。

※2「中学校」には、義務教育学校後期課程を含む。以降においても同様。

2 指標と目標

指標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1 授業では友達と相談したり、話し合ったりする機会がある子どもの割合（％）	目標	基準	85.0	86.0	87.0	88.0	89.0
	実績	82.9	93.9	95.6	96.0	97.4	93.7
	自己評価		A	A	A	A	A
2 児童生徒のＩＣＴ活用を指導できる教員の割合（％）	目標	基準	68.8	70.1	71.4	72.7	74.0
	実績	66.2	61.1	77.8	89.8	82.4	75.6
	自己評価		B	A	A	A	A
総合評価			B	A	A	A	A

自己評価	A:目標達成 B:達成率80%以上 C:達成率70%以上 D:達成率70%未満
総合評価	A:順調に達成している B:概ね順調に達成している C:達成に向け課題がある D:順調でない

【評価に関する考察】

指 標	考 察
1 授業では友達と相談したり、話したりする機会がある子どもの割合（％）	各校が作成した学力向上指導改善プランに基づく授業改善により、高い割合が維持できている。昨年に比べ3.7ポイント減少しているが、個別学習の時間確保により、相互交流の機会が相対的に減少したと考えられる。 今後は個別最適な学びと協働的な学びのバランスを見直し、対話的な学習活動の質的向上と量的確保の両立を図る。
2 児童生徒のICT活用を指導できる教員の割合（％）	目標は達成しているものの、前年比6.8ポイント減となっている。GIGAタブレット導入から4年が経過し、「単なる使用」から「効果的活用」へ、教職員の自己評価が厳格化したことが要因の一つと考えられる。 今後は、効果的活用に関する研修も検討していく。

基本目標 2	多様な人々との協働を促し、思いやりの心もち、共に支え合う子どもを育成します
--------	---------------------------------------

1 令和6年度事業計画

基本施策1 豊かな心の育成			
事業	計画	実績	
1 学校人権同和教育教員研修活動事業	教職員に対する人権・同和教育を実施	・全国大会（1人） ・研究全国集会（1人） ・部落解放講座（6人）	
2 文化活動事業	学習成果を発表するための各種作品展等を実施	・造形展（1,142点） ・科学作品展（128点） ・文化系部活動実施指導者（8人）	
3 鹿児島市交流事業	鹿児島市との中学生相互派遣交流	交流実施 （大垣市生徒13人）	
4 部活動地域移行実証事業	新たな地域クラブ活動実証事業の実	・検討委員会の実施 ・体育連盟に業務の一部を委託 ・地域クラブへの補助金（10団体） ・低所得世帯への補助金（3名）	
基本施策2 いじめや問題行動、不登校への対応の充実			
事業	計画	実績	
1 いじめ防止等対策事業	生徒指導上の諸問題を抱える学校へのサポート	いじめ等スクールサポーターによる訪問相談（43回）	
	学級生活満足度、学校生活意欲、対人関係能力の状況を把握する学級集団状況調査「WEB Q U」の実施	学級集団状況調査「WEB Q U」の実施（2回） ※対象：小4～6年 中1、2年	

4 学校教育

2 ほほえみ相談員設置 推進事業	いじめ・不登校の未然防 止、早期発見、早期対応 のため、ほほえみ相談員 を配置	・小学校（14 人） ・中学校（10 人）	
3 教育相談員等派遣事業	不登校・不登校傾向の児 童生徒やその保護者及 び学校の相談対応	・専門医相談（1 件） ・臨床心理士派遣 （22 回） ・学習支援員派遣 （66 回）	
4 ほほえみ教室事業	ほほえみ教室（適応指導 教室）において、心理的 要因で不登校に陥って いる児童生徒の集団適 応力を培うための支援・ 援助	ほほえみ教室 （32 人）	
5 とまり木教室事業	とまり木教室（フリース ペース型適応指導教室） において、引きこもり傾 向にある児童生徒が他 者と関わりをもてるよ うするための支援・援助	とまり木教室 （10 人）	新規
6 事務局一般経費 （スクールロイヤー事業）	問題が深刻化する前に 適切に対応できるよう、 学校がスクールロイヤ ーに相談できる体制を 整備	・アドバイザー業務 （26 件） ・面談業務（4 件）	
7 人件費 （生徒指導相談員事業）	学校内や家庭訪問によ る児童生徒の学習支援、 保護者との相談を実施 するため生徒指導相談 員を配置	・生徒指導相談員 （6 人） ・児童生徒支援 （1,325 回） ・児童生徒の状況の 聴取（235 回）	

基本施策3 「共生社会」の実現をめざす教育の推進

事業	計画	実績	
1 特別支援教育サポート事業	特別支援学級への介助員及び通常学級への支援員の配置	・介助員 (28人) ・支援員 (40人)	
2 医療的ケア児就学支援事業	小中学校に在籍する医療的ケア児に対して、適切な支援を行うための体制を整備	・対象児童 (3人)	
3 鹿児島市交流事業	市と鹿児島市の中学生の相互派遣交流	交流実施 (大垣市生徒13人)	
4 知能検査事業 (再掲)	入学前の子ども及び小学校2、6年生を対象とした知能検査の実施	・入学前 (1,310人) ・2年生 (1,286人) ・6年生 (1,401人)	
5 特別支援教育推進事業	個々の障がいの実態を把握し、発達や特性に応じた適正な就学支援を推進	・個別知能検査 (234件) ・協議会等 (7回) ・就学のための教育相談 (14件)	
6 多文化共生教育推進事業	日本語指導等が必要な児童生徒に対する支援	・初期指導教室 (指導員4人、通訳6人) ・日本語教室 (通訳11人)	

4 学校教育

2 指標と目標

指 標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1 自分から進んであいさつをしている子どもの割合（％）	目標	基準	87.4	88.0	88.6	89.2	90.0
	実績	86.2	89.0	85.6	86.2	90.0	80.7
	自己評価		A	B	B	A	B
2 いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている子どもの割合（％）	目標	基準	97.7	98.2	98.7	99.2	100.0
	実績	96.7	98.3	96.6	97.5	98.1	94.9
	自己評価		A	B	B	B	B
総合評価			A	B	B	B	B

【評価に関する考察】

指 標	考 察
1 自分から進んであいさつをしている子どもの割合 (%)	前年比 9.3 ポイント減少しており、特に小 6 の減少幅が大きい。小 6 は集団性や仲間意識が育まれる中学年の時期にコロナ禍の行動制限を経験した世代であり、対面コミュニケーションの機会が制限されていた影響も考えられる。 今後は挨拶だけでなく、様々な場でコミュニケーションの良さを実感できるような取組を充実させる必要がある。
2 いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている子どもの割合 (%)	前年度比 3.2 ポイントの減となっており、目標は達成していない。 道徳教育や人権教育の充実を図り、より実践的な体験活動を取り入れていく必要がある。 また、SNS などによる新たないじめの形態に対応するため、情報モラル教育を強化するとともに、児童生徒が主体的に考え、行動できる機会を増やし、互いを尊重する風土づくりを学校全体で推進する。

基本目標 3	グローバル化に対応した教育を推進し、ふるさとに愛着と誇りをもつ子どもを育成します
--------	--

1 令和6年度事業計画

基本施策1 「ふるさと大垣科」の推進			
事業	計画	実績	
1 ふるさと大垣科推進事業	ふるさと大垣の自然、歴史、文化を知り、誇りや愛着をもつ児童生徒を育てる「ふるさと大垣科」の実施	・地域見学 (19小学校) ・俳句講師派遣 (96回)	
基本施策2 情報教育の推進			
事業	計画	実績	
1 プログラミング教育推進事業（再掲）	小・中学校の教科等におけるマイコンボード教材等を活用した授業の実施	・中学校技術：マイコンボード教材の活用 ・小学校：マイコンボード・ロボット教材、Scratchの活用 ・プログラミング教育支援員 13 人	
基本施策3 英語教育の推進			
事業	計画	実績	
1 英語教育推進事業	小学校における英語指導体制の充実	・ALT派遣（3人） ・英語地域人材講師（22人）	

4 学校教育

		中学校における英語指導体制の充実	・ALT派遣（7人） ・ALTによるパフォーマンステスト実施（10校）	
		英語教育向上プロジェクト	・GTEC実施（中学校2年生1,185人） ・Speaking Quest（小学校6年生 実施回数3回）	
基本施策4 国際理解教育の推進				
	事業	計画	実績	
1 英語教育推進事業（再掲）		小学校における英語指導体制の充実	・ALT派遣（3人） ・英語地域人材講師（22人）	
		中学校における英語指導体制の充実	・ALT派遣（7人） ・ALTによるパフォーマンステスト実施（10校）	
		英語教育向上プロジェクト	・GTEC実施（中学校2年生1,185人） ・Speaking Quest（小学校6年生 実施回数3回）	
2 多文化共生教育推進事業（再掲）		日本語指導等が必要な児童生徒に対する支援	・初期指導教室（指導員4人、通訳6人） ・日本語教室（通訳11人）	

2 指標と目標

指標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思っている子どもの割合（％）	目標	基準	36.0	39.0	42.0	45.0	48.0
	実績	30.0	23.6	34.4	34.5	45.3	45.4
	自己評価		—	B	B	A	B
2 GTECのA1レベル相当以上の英語力を有する中学2年生の割合（％）	目標				基準	55.0	57.0
	実績				87.0	83.0	80.6
	自己評価					A	A
総合評価						A	B

【令和5年度から「指標2」指標及び目標値を変更】

令和3年度までは、自主的な受験であったのに対し、令和4年度からは、市予算（英語教構想推進事業）により、中学2年生全員が英語外部試験（GTEC）を受験することとなり、全員の結果を把握できるようになったため、令和4年度GTECの全国平均（中学2年生）49.2%を基準に、R5、R6の目標値を設定。

（参考）変更前

※下線部分が変更箇所

指標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
2 <u>C E F R※</u> のA1レベル相当以上の英語力を有する中学 <u>3</u> 年生の割合(%)	目標	基準	24.2	26.3	28.4		
	実績	20.0	26.1	22.9	20.3		
	自己評価		A	B	C		
総合評価			—	B	C		

※ CEFR（セフアール）：外国語のコミュニケーション能力を表す指標のことで、国際標準規格。CEFRのA1レベルは、英検3級相当。

【評価に関する考察】

指 標	考 察
1 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思っている子どもの割合（％）	目標を少し下回ったものの、オンライン異文化コミュニケーション活動の成果が継続しており、日本や地域について外国の人に知ってもらいたいという意識が定着していることがうかがえる。 引き続き、よりよい活動の在り方を検討する。
2 GTECのA1 レベル相当以上の英語力を有する中学2年生の割合（％）	「大垣市小中学校英語教育構想」に基づき、英語教育に取り組んだ結果、全国平均（52.4 ポイント）と比較し、良好な結果を維持できている。

基本目標 4	豊かな学びを支える教育環境を整備し、いきいきと活動できる子どもを育成します
--------	---------------------------------------

1 令和6年度事業計画

基本施策1 健やかな体の育成			
事業	計画	実績	
1 文教団体育成推進事業	体力技能向上にかかる大会への支援	小学校体育振興会、中学校体育連盟への補助	
2 体育系部活動事業	中学校体育系部活動への支援	・中学校体育系部活動指導者（98人） ・中学校運動部強化事業補助（6部活） ・全国大会等出場への補助（3校）	
3 教育保健一般経費	学校保健会への補助	学校保健会への補助	
4 学校保健安全事業	学校医等への報酬及び災害共済の加入	・学校医等への報酬 ・災害共済の加入	
5 就学援助医療扶助事業	要保護及び準要保護生徒の医療扶助	実績なし	
6 学校健康診断事業	児童生徒及び教職員の健康診断の実施	児童生徒及び教職員の健康診断の実施	
7 学校環境衛生事業	小中学校における環境衛生検査の実施	小中学校における環境衛生検査の実施	
	保健室における相談体制の充実	・生理用品等の配布 ・保健室なんでも相談BOXの設置	

4 学校教育

8 学校給食センター管理 事業	小中学校及び幼稚園への 安心・安全で魅力ある給食 の提供	給食器具等の整備、 食中毒防止対策等 の実施 ・南部：さいの目切 り機刃物 修理 ほか ・北部：冷却機能付 食器消毒保管庫 修理ほか	
	学校給食への興味・関心の 醸成	「全国学校給食週 間」に合わせた「学 校給食のあゆみ」や 「大垣市の学校給 食」について展示の 実施	
9 学校給食センター運搬 事業	小中学校及び幼稚園への 給食の配送及び回収	給食の配送・回収 ・小学校 18 校 ・中学校 9 校 ・義務教育学校 1 校 ・幼稚園 3 園	
10 南部学校給食センター 整備事業	P F I 手法を用いて建設 した南部学校給食センタ ーの公有財産の購入	南部学校給食セン ターの建設購入費 支出	
11 学校給食物価高騰対策 事業	物価高騰下における子育 て世帯の更なる負担額を 考慮して、令和 6 年度学校 給食費会計の赤字分を公 費にて負担	学校給食費の保護 者負担軽減のため 物価高騰分を公費 にて負担 34,000 千円	

12 部活動地域移行実証事業（再掲）	新たな地域クラブ活動実証事業の実施	・検討委員会の実施 ・体育連盟に業務の一部を委託 ・地域クラブへの補助金（10 団体） ・低所得世帯への補助金（3 名）	
基本施策 2 多様なニーズに応じた教育支援体制の充実			
事業	計画	実績	
1 多文化共生教育推進事業（再掲）	日本語指導等が必要な児童生徒に対する支援	・初期指導教室（指導員4人、通訳6人） ・日本語教室（通訳11人）	
2 知能検査事業（再掲）	入学前の子ども及び小学校2、6年生を対象とした知能検査の実施	・入学前（1, 310 人） ・2 年生（1, 286 人） ・6年生（1, 401人）	
3 特別支援教育推進事業（再掲）	個々の障がいの実態を把握し、発達や特性に応じた適正な就学支援を推進	・個別知能検査（234件） ・協議会等（7回） ・就学のための教育相談（14件）	
4 特別支援教育サポート事業（再掲）	特別支援学級への介助員及び通常学級への支援員の配置	・介助員（28人） ・支援員（40人）	
5 医療的ケア児就学支援事業（再掲）	小中学校に在籍する医療的ケア児に対して、適切な支援を行うための実施体制の整備	・対象児童（3人）	

4 学校教育

6 就学援助事業	小中学校に通う子どもの保護者に給食費や学用品費等の一部を助成	対象児童生徒数 ・小学校：学用品費183人、給食費225人、通学費6人 ・中学校：学用品費70人、給食費92人、通学費1人	
7 特別支援教育奨励事業	小中学校の特別支援学級に通う子どもの保護者に、給食費や学用品費等の一部を助成	対象児童生徒数 ・小学校：学用品費183人、給食費225人、通学費6人 ・中学校：学用品費70人、給食費92人、通学費1人	

基本施策3 危機管理体制の充実

事業	計画	実績	
1 学校営繕事業	小中学校における安全・防犯対策の充実	防犯カメラ更新工事、玄関改修（オートロック化）	
2 学校保健安全事業（再掲）	学校医等への報酬及び災害共済の加入	・学校医等への報酬 ・災害共済の加入	
3 教育振興一般経費	法教育の推進	小学校 10 校で実施	

基本施策4 学校環境の整備

事業	計画	実績	
1 学校一般経費	小中学校における一般備品の購入	小中学校の一般備品の購入	
2 学校施設維持管理事業	小中学校における施設維持管理	消防設備保守点検ほか	
3 スクールバス運行事業	上石津学園の登下校バス運行	・前期課程（148人） ・後期課程（87人）	

4 学校営繕事業	小中学校における施設営繕	・墨俣小屋上防水改修工事 ・東小門扉改修工事	
5 学校情報化機器整備管理事業	教育用タブレット端末及び教職員用パソコン等の管理・整備	教育用タブレット端末及び教職員用パソコン等の管理・整備	
6 学校教材整備事業	小中学校における教材備品等の整備	小中学校における各種教材備品等の整備	
7 小学校指導用教科書等整備事業	小学校の教科書改訂に伴う、教師用教科書及び指導書等の整備	小学校の教科書改訂に伴う、教師用教科書及び指導書等の整備	
8 教育情報ネットワーク事業	教育情報ネットワークシステム（OPEN）、学校間のネットワークシステム等の運用管理	OPENアクセス数（196,541回）	
	統合型校務支援システムの運用管理	令和6年度より導入。教職員出退勤管理、進路業務の効率化、出欠情報のロケーションフリー化、各種帳票の整備等により、教職員の業務改善につながった。	新規
9 学校保健安全事業（再掲）	学校医等への報酬及び災害共済の加入	・学校医等への報酬 ・災害共済の加入	
10 学校外壁改修事業	小中学校における外壁改修 ・青墓小学校、南中学校、星和中学校	・青墓小校舎南舎外壁改修工事 ・南中学校北・西面屋内運動場外壁改修工事 ・星和中学校校舎西・昇降口棟外壁改修工事	

4 学校教育

11 中学校グラウンド改修事業	中学校におけるグラウンド改修 ・江並中学校	江並中グラウンド改修工事	
12 江東小学校屋内運動場改築事業	江東小学校における屋内運動場の改築工事	江東小屋内運動場改築工事	
13 綾里小学校屋内運動場改築事業	綾里小学校における屋内運動場の改築設計	綾里小屋内運動場改築設計委託	

基本施策5 学校・家庭・地域の協働による教育の推進

事業	計画	実績	
1 次代を拓く人づくり事業	「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育む教育を実践しながら、地域と学校が一体となって取り組む学校づくりの推進	地域と学校が連携し、学校ごとの特色を生かした事業を実施 ・小学校 18 校 ・中学校 9 校 ・義務教育学校1校	
2 部活動地域移行実証事業（再掲）	新たな地域クラブ活動実証事業の実施	・検討委員会の実施 ・体育連盟に業務の一部を委託 ・地域クラブへの補助金（10 団体） ・低所得世帯への補助金（3 名）	

基本施策6 教員の働きやすい環境づくり

事業	計画	実績	
1 教育振興一般経費	教職員の業務改善の推進	・新しい学校の在り方検討委員会（2 回） ・中学校採点業務システムの導入（10 校）	

2 教育情報ネットワーク事業（再掲）	教育情報ネットワークシステム（OPEN）、学校間のネットワークシステム等の運用管理	OPENアクセス数（196,541回）	
3 事務局一般経費（再掲）（スクールロイヤー事業）	問題が深刻化する前に適切に対応できるよう、学校がスクールロイヤーに相談できる体制を整備	・アドバイザー業務（26件） ・面談業務（4件）	
4 小学校指導用教科書等整備事業	小学校の教科書改訂に伴う、教師用教科書及び指導書等の整備	小学校の教科書改訂に伴う、教師用教科書及び指導書等の整備	
5 スクールサポートスタッフ配置事業	各学校に教員の業務支援を行うスクールサポートスタッフを配置	全学校にスクールサポートスタッフを配置 ・小学校18人 ・中学校9人 ・義務教育学校2人	新規

2 指標と目標

指 標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1 運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合（％）	目標	基準	57.8	58.4	59.0	59.6	60.1
	実績	56.6	54.7	52.3	53.3	56.2	54.8
	自己評価		B	B	B	B	B
2 1校あたりの地域人材を活用した人数（人）	目標	基準	134	146	158	170	180
	実績	110	83	123	165	201	218
	自己評価		評価不能	B	A	A	A
総合評価			評価不能	B	B	B	B

【評価に関する考察】

指 標	考 察
1 運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合（％）	熱中症対策を含め、運動をする機会自体の減少により、運動やスポーツへの意識が低下していることも要因の一つとして考えられる。 今後は、体育授業での運動の楽しさを実感できる工夫をさらに充実させるとともに、休み時間の外遊びの充実を図り、児童生徒の運動習慣の定着と運動への肯定感を高める取り組みを継続していく。
2 1校あたりの地域人材を活用した人数（人）	学校と地域の協働関係が深まり、より多様な場面での人材活用が実現できており、前年度より 17 人増加した。

5 社会教育

基本目標 1	地域づくりを推進し、学び挑戦できる人づくりをめざします
--------	-----------------------------

1 令和6年度事業計画

基本施策1 社会教育を推進する人材の養成

事業	計画	実績
1 社会教育総務一般経費	社会教育主事の計画的な養成	社会教育主事講習の受講（1人）
2 社会教育委員事業	社会教育委員の調査研究の機会の充実 ・先進地視察や研修会の開催	岐阜県社会教育推進大会（10人）
3 社会教育推進員事業	社会教育推進員の研修の機会の充実 ・先進地視察や研修会の開催	学校支援コーディネーターとの合同研修会ほか（24人）
4 青少年育成推進員事業	青少年育成推進員への研修の実施及び研修機会の提供	・「ネット社会の歩き方」研修会 ほか（13人） ・西濃地区社会教育振興会議・西濃地区青少年育成関係者圏域研修会 ほか（14人）
5 青年の家管理事業 （指定管理者指定事業）	青少年のリーダーを養成する講座、講習会を実施	・青少年ボランティアリーダー養成講座（4回、93人） ・普通救命、赤十字救急法基礎講習会（2回、22人） ・モルック指導員・審判員講習会（1回、21人）

5 社会教育

基本施策2 地域づくりにむけた社会教育活動の推進			
事業	計画	実績	
1 地域教育力向上事業	地域づくり推進施設を拠点にしたエリア型地域づくりの推進	・地域社会教育推進協議会への支援(69事業) ・NPO、高等教育機関、企業等との連携(19件)	

2 指標と目標

指 標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1 社会教育主事養成人数 （人） ※目標値及び実績値は、毎年度の 累計値です。	目標	基準	5	6	7	8	9
	実績	3	5	6	7	8	9
	自己評価		A	A	A	A	A
2 地域社会教育推進事業 における N P O 等との 連携件数（件）	目標	基準	7	8	9	10	12
	実績	6	3	7	11	13	19
	自己評価		評価不能	評価不能	A	A	A
総合評価			評価不能	評価不能	A	A	A

自己評価	A:目標達成 B:達成率80%以上 C:達成率70%以上 D:達成率70%未満
総合評価	A:順調に達成している B:概ね順調に達成している C:達成に向け課題がある D:順調でない

【評価に関する考察】

指 標	考 察
1 社会教育主事養成人数（人）	予定通り職員1人が講習を受講し修了したため、目標人数を達成した。
2 地域社会教育推進事業におけるNPO等との連携件数(件)	企業や団体などとの連携が前年比6件増加し、目標を達成した。 引き続き、事業推進のため支援を行っていく。

基本目標 2	よさを認め尊重し合う活動を推進し、思いやりのある心豊かな人づくりをめざします
--------	--

1 令和6年度事業計画

基本施策1 家庭教育の推進			
事業	計画	実績	
1 家庭教育支援事業	家庭教育の在り方を学ぶ機会や子育ての悩みを相談できる場・親同士が語り合える場の提供 ・家庭教育講演会の開催	・就学時健診等の機会を利用した子育て講座（19校） ・思春期子育て講座（9校） ・企業内家庭教育学級への支援（4企業） ・家庭教育相談室における相談（19件） ・家庭教育支援スタッフ養成講座（9回、103人） ・就学児家庭支援サロン（24回） （通常サロン9回 土曜サロン9回 夏休みサロン6回） ・家庭教育推進団体企画事業（4件） ・家庭教育学級事業への補助（37学級） ・家庭教育学級研修会（2回） ・家庭教育講演会（1回）	

基本施策2 多様性を尊重した学習機会の充実

事業	計画	実績
1 スイトピア子どもクラブ事業	スイトピアセンター等で小学生の興味に応じた科学・工作・美術などの体験講座の開催	スイトピア子どもクラブ（発明1ほか11クラブ）
2 若森会館管理事業	若森会館における学習講座の開催	・前期 7講座 ・後期 7講座
3 若森会館営繕事業	若森会館の営繕	玄関扉の修繕
4 人権教育促進事業	人権教育・人権啓発に関する施策の実施	・人権作文集作成（800部） ・人権心のふれあい講座（4回） ・人権・同和問題をみんなで考える学習会（1回） ・人権・同和教育講演会（1回） ・人権啓発講演会（1回）

基本施策3 青少年の主体的な活動の推進

事業	計画	実績
1 少年の船派遣事業	洋上での集団生活やフレンドリーシティ鹿児島市の児童との交流による少年リーダーの育成	少年の船派遣事業（30人）
2 少年リーダー育成事業	少年リーダーを育成するために活動する少年団体への支援	・ジュニアリーダーズクラブ事業への補助 ・ボーイスカウト事業への補助

5 社会教育

3 青年の家管理事業 (指定管理者指定事業)	青少年が自主的に活動 する機会の提供	・子ども会リーダースクール (3回、80人) ・ジュニアリーダー育成研修会 (7回、92人) ・ちびっこワイワイキャンプ (3回、109人) ・子どもクッキング教室 (6回、105人) ・夏休みキッズスクール (2回、69人)
---------------------------	-----------------------	---

2 指標と目標

指 標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1 家庭教育支援スタッフ の委嘱数（人）	目標	基準	16	18	20	22	24
	実績	14	21	19	23	25	23
	自己評価		A	A	A	A	B
2 「子ども会リーダース クール」及び「ジュニア リーダー育成研修」の 参加人数（人）	目標	基準	160	163	165	167	170
	実績	157	中止	48	105	179	172
	自己評価		評価不能	評価不能	評価不能	A	A
総合評価			評価不能	評価不能	評価不能	A	B

【評価に関する考察】

指 標	考 察
1 家庭教育支援スタッフの委嘱数（人）	スタッフの養成講座やスキルアップ講座を開催し、人材の育成・定着に努め令和6年度は新規で4人委嘱したが、前年度より2人減少し目標が達成できなかった。 今後も養成講座の周知に努める。
2 「子ども会リーダースクール」及び「ジュニアリーダー育成研修」の参加人数	大垣市レクリエーション協会、大垣市子ども会育成連絡協議会と連携し、周知に努めたことにより、ジュニアリーダーは前年度比7人増加し、研修への参加は前年度より減少したものの、目標を達成することができた。 引き続き、事業の周知に努める。

基本目標 3	地域との絆づくりを大切にする活動を充実し、郷土に誇りをもって生きる人づくりをめざします
--------	---

1 令和6年度事業計画

基本施策1 歴史・文化に触れる社会教育の推進			
事業	計画	実績	
1 地域教育力向上事業	地域の歴史や文化に触れる講座等の実施を推進	・地域社会教育推進協議会への支援（24件） ・地域子ども活動支援事業への補助（11団体）	
基本施策2 地域と学校の協働活動の推進			
事業	計画	実績	
1 地域教育力向上事業	学校支援コーディネーターを中心とした小・中学校の学校支援ボランティア事業を推進	・コーディネーター配置（28校） ・学校支援ボランティア登録者（1,278人）	
	大垣市教育支援人材バンクの整備と活用の推進	・教育支援人材バンク登録者（113人）	
	小・中学校の休業日等に地域住民が主体となり、児童・生徒の学習習慣及び基礎学力を向上させる事業の推進	・地域家庭学習支援事業への補助（4校）	

基本施策3 地域における青少年健全育成の推進

事業	計画	実績
1 青少年育成推進員事業	青少年育成推進員による青少年健全育成の推進	・青少年育成関係者ブロック研修会 (16校区、2,369人) ・わが家のふれあいアルバム (応募2,753点)
2 明るい青少年都市市民会議事業	「大垣市明るい青少年都市宣言」に基づき、青少年の健全育成を図るための活動を実施	・明るい青少年都市市民会議大会 (147人) ・コンビニ等への立入調査 (2回、2人) ・地域のおじさん・おばさん運動 (6,799人) ・家庭の日推進ふれあい清掃活動 ・大垣市明るい青少年都市市民会議合同会議研修会 (55人)
3 子ども会育成事業	子ども会育成連絡協議会の活動に対する支援	大垣市子ども会育成連絡協議会、各校区子ども会への補助

5 社会教育

2 指標と目標

指 標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1 「学校支援ボランティア」及び「大垣市教育支援人材バンク」の登録者延べ人数（人）	目 標	基 準	1, 047	1, 102	1, 157	1, 212	1, 270
	実 績	982	1, 274	1, 287	1, 342	1, 408	1, 391
	自己評価		A	A	A	A	A
2 青少年健全育成研修会（ブロック研修会）の参加者数（人）	目 標	基 準	2, 389	2, 428	2, 466	2, 504	2, 540
	実 績	2, 311	175	226	318	1, 692	2, 369
	自己評価		評価不能	評価不能	評価不能	C	B
総合評価			評価不能	評価不能	評価不能	B	B

【評価に関する考察】

指 標	考 察
1 「学校支援ボランティア」及び「大垣市教育支援人材バンク」の登録者延べ人数(人)	上石津地域は、上石津学園の開校により4地区が統合され、前年度より大きく減少したが、学校、地域での呼びかけの結果、他地区では増加しており、目標を達成した。
2 青少年健全育成研修会(ブロック研修会)の参加人数(人)	令和6年度の実施は、22校区中16校区と少なく目標は達成できていないが、開催方法を地区ごとに変更するなどした結果、前年比677人の増加となった。 今後は他地区の事例を参考にするための情報交流を図る。

基本目標 4	興味・関心に応じて学び合える環境を整備し、いきいきと活動できる人づくりをめざします
--------	---

1 令和6年度事業計画

基本施策1 生涯学習機会の充実			
事業	計画	実績	
1 スイトピア子どもクラブ事業（再掲）	スイトピアセンター等で小学生の興味に応じた科学・工作・美術などの体験講座の開催	スイトピア子どもクラブ（発明1ほか11クラブ）	
2 上石津地域公民館管理事業	地域住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図る公民館での各種講座の開催	料理教室ほか（23講座）	
3 青年の家管理事業（指定管理者指定事業）	青少年教育施設の管理運営	青年の家の管理運営（利用者数：131,750人）	
4 青年の家営繕事業	青少年教育施設の営繕	研修棟1階研修室改修工事ほか	
5 青墓町多目的広場管理事業	青少年教育施設の管理運営	青墓町多目的広場の管理運営（利用者数：8,240人）	
6 青少年憩いの森管理事業	青少年憩いの森遊歩道の管理運営	円興寺北トイレ屋根葺き替え工事ほか	
基本施策2 関係機関との連携			
事業	計画	実績	
1 地域教育力向上事業	地域で行われる学習会や研修会等への市民講師の派遣	講師派遣（1回）	

5 社会教育

2 指標と目標

指 標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1 「スイトピア子どもクラブ」の受講者数(人)	目標	基準	272	279	286	293	300
	実績	265	中止	中止	139	234	231
	自己評価		評価不能	評価不能	評価不能	B	C
2 地域で行う学習会や研修会への講師派遣回数(回)	目標	基準	2	4	6	8	10
	実績	0	0	1	1	1	1
	自己評価		評価不能	評価不能	評価不能	D	D
総合評価			評価不能	評価不能	評価不能	C	D

【評価に関する考察】

指 標	考 察
1 「スイトピア子どもクラブ」の受講者数(人)	クラブにより応募数にばらつきがあり、前年を下回ったが、満足度調査では9割以上が満足と回答している。 今後も、内容の充実や広報等での周知に努める。
2 地域で行う学習会や研修会への講師派遣回数(回)	出前講座の利用を呼びかけているが、各地区でそれぞれ独自に講師を選定しており、活用につながらなかった。 (後期計画では、指標を見直し)

6 文化振興

基本目標 1	文化芸術活動を充実し、豊かな創造力を育むひとづくりをめざします
--------	---------------------------------

1 令和6年度事業計画

基本施策1 文化芸術等に触れる機会の充実

事業	計画	実績
1 芸術文化振興事業	子どもたちが気軽に文化芸術に親しめるステージ事業等の実施	・地域芸術家の学校アウトリーチ事業（市内小・中学校4校、966人）
2 トップレベルのアートフェス事業 （指定管理者指定事業）	トップレベルの文化芸術に触れる機会を提供する事業の実施	・プライムコンサート「渡辺貞夫カルテットライブ」（563人） ・プライムコンサート「ハラミちゃんファミリーコンサート2024～お子様ランチいただきます！～」（561人） ・スイトピア×イアマス連携展示「うごキズム～うごく・うごかす・うごきをみる～」（3,546人）

3 子育て日本一タイアップ事業 (指定管理者指定事業)	子育て世代を対象とした鑑賞・体験事業の実施	・ファミリーコンサート「上原彩子が奏でる《くるみ割り人形》」(285人) ・ナゾトキシアター「名探偵! 山田コタロウ怪盗ホウレン草との闘い編」(97人)	
4 俳句文化振興事業 (俳句探究事業)	子どもが俳句づくりに触れる事業の実施	・ふるさと魅力体験(小学校16校) ・ふるさと大垣句集の作成(小学校7,191句、中学校3,492句)	
5 守屋多々志美術館自主事業	守屋多々志美術館における企画展等の開催 ・美術館アウトリーチ事業	・企画展(5回、5,315人) ・美術館アウトリーチ事業(2回、120人)	

基本施策2 文化芸術等を学ぶ機会の充実

事業	計画	実績
1 芸術文化振興事業 (芸術探究事業)	次世代の文化芸術の人材育成につながる体験事業等の実施	・大垣市芸術祭 洋楽 (176人) 洋舞 (1,012人) 邦楽・邦舞 (400人) 拓本展 (56人) 名石展 (230人) 市民茶会 (244人) 美術展 (11,116点) 文芸祭 (1,657点)
2 次世代のクリエイター育成事業 (指定管理者指定事業)	次世代人材を育成するための体験教室等の実施	・市民科学講座 (3回、412人) ・市民天体教室 (78回、2,136人) ・おもしろ科学教室 (12回、254人) ・科学大好きセミナー (8回、301人) ・わくわく科学体験事業 (7日間、455人)

3 子育て日本一タイアップ事業 (指定管理者指定事業)	次世代人材を育成するためのワークショップ事業の実施	・音楽ワークショップ「ピアノ解体ワークショップ & 調律体験」 (22組50人)	
4 俳句文化振興事業 (俳句探究事業)	子どもが俳句づくりの楽しさを学ぶ事業の実施	・こども俳句教室 (4回、19人) ・おおがき句会ライブ教員向け (129人) ・おおがき句会ライブ学校向け (小野小, 中川小)	
5 守屋多々志美術館自主事業	守屋多々志美術館における企画展の開催及び講座の実施	・企画展 (5回、5,315人) ・講演会 (1回、35人) ・絵手紙講座 (8回、149人) ・日本画教室 (3回、42人) ・子ども鑑賞会・ワークショップ (6回、80人) ・美術館アウトリーチ事業 (2回、120人)	

2 指標と目標

指 標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1 子どもを対象とした 事業数（件）	目標	基準	56	57	58	59	60
	実績	54	27	51	61	60	63
	自己評価		評価不能	評価不能	A	A	A
2 高校生以下の俳句投句 数（句）	目標	基準	87,630	87,900	88,180	88,460	88,740
	実績	87,080	66,219	52,723	81,047	78,569	78,600
	自己評価		評価不能	評価不能	B	B	B
総合評価			評価不能	評価不能	B	B	B

自己評価	A:目標達成 B:達成率80%以上 C:達成率70%以上 D:達成率70%未満	
総合評価	A:順調に達成している B:概ね順調に達成している C:達成に向け課題がある D:順調でない	

【評価に関する考察】

指 標	考 察
1 子どもを対象とした事業数（件）	親子で楽しめるワークショップを新設するなどし、目標値を達成できた。
2 高校生以下の俳句投句数（句）	前年度より増加したが、他市において隔年で開催される大会と重なり、市外の中学生の投句数が減少した。

基本目標 2	文化の相互交流を通して、多様な文化芸術を理解する人づくりをめざします
--------	------------------------------------

1 令和6年度事業計画

基本施策1 多様な文化芸術等の情報発信			
事業	計画	実績	
1 文化芸術情報発信事業	市や各種団体が実施する文化芸術の情報の発信	・HP、広報、情報誌（241件） ・SNS（Instagram）による情報発信（10施設）	
2 学習館・文化会館管理事業 （指定管理者指定事業）	文化事業団が実施する文化芸術事業の情報の発信	パンフレット、HP、情報誌等（203件）	
基本施策2 文化芸術等の交流機会の充実			
事業	計画	実績	
1 文化振興一般経費	文化芸術団体が実施する事業への支援	文化フェスティバル等各種団体への補助（9件）	
2 バリアフリー・多文化共生事業 （指定管理者指定事業）	障がいのある人や外国人も一緒に参加できる共生型事業の実施	・バリアフリーコンサート「ウーノのピアノ音楽会」（138人）	
3 芸術文化振興事業	音楽や芸術に関する事業の実施	・大垣市芸術祭 洋楽（176人） 洋舞（1,012人） 邦楽・邦舞（400人） 拓本展（56人） 名石展（230人） 市民茶会（244人） 美術展（11,116点）	

		文芸祭 (1, 657点) ・大垣音楽祭 市民団体の部 (17公演、3, 453人) スプリングコンサート (295人) ・墨俣さくら会館応援アーティスト 共催コンサート (974人) ・墨俣さくら会館みんなのステージ (1事業、来場者240人) ・地域芸術家の学校 アウトリーチ事業 (小学校3校・ 788人、中学校1校 118人)	
4 俳句文化振興事業 (俳句交流事業)	俳句を通じて他地域や団体間の交流ができる事業の実施	おおがき芭蕉交流句会 (4回、52人)	
5 守屋多々志美術館自主事業	守屋多々志美術館における企画展の開催及び講座の実施	・企画展 (5回、5, 315人) ・講演会 (1回、35人) ・絵手紙講座 (8回、149人) ・日本画教室 (3回、42人) ・子ども鑑賞会・ワークショップ (6回、80人)	

		・美術館アウトリーチ事業（2回、120人）	
6 音楽のまち推進事業	芸術文化事業の実施	水嶺湖音楽祭 ・ミュージックフェスティバル（参加者：動物の謝肉祭5組10人、音楽で迎える音楽村の30年6組58人、入場者：231人） ・合唱フェスティバル（参加者：9組127人、入場者：延べ220人） ・ジャズフェスティバル（参加者：10組49人、入場者：延べ300人） ・田村響ピアノ公開レッスン（受講生6人、聴講生19人） ・ピアノの音楽会～ピアノ弾き込みボランティアコンサート（出演者7人、入場者111人）	

7 日本昭和音楽村30周年 記念事業	日本昭和音楽村開館30 周年を記念し、文化芸術 事業の実施	音楽村開館30周年 記念事業 ・#（ハッシュタグ） 音楽村30チャレ レンジ（参加者30団 体・個人、発信件 数34件） ・祝654フェス〜み んなで音楽を楽 しもう〜（入場者 150人） ・海上自衛隊東京音 楽隊演奏会（入場 者235人） ・Y o u t u b e r 等によるストリ ートピアノライ ブ・音楽村PR動 画制作（ライブ収 録入場者98人、ス トリートピアノ ライブ入場者48 人、制作動画数計 18本） ・山中千尋ピアノト リオジャズコン サート（入場者 202人） ・辻彩奈ヴァイオリ ン・リサイタル （入場者171人） 上石津学園との連 携事業の実施	臨時
-----------------------	-------------------------------------	---	----

		・祝上石津学園開校記念演奏会（入場者 485 人） ・Y o u t u b e r 等による上石津学園シークレットライブ（入場者 271 人） ・山中千尋ピアノトリオジャズライブ i n 上石津学園（入場者 271 人）	
8 清流の国ぎふ文化祭推進事業	「清流の国ぎふ」文化祭 2024を開催	全国文化交流事業 ・小倉百人一首競技かるた全国大会（参加選手・来場者数671人） ・全日本健康マージャン交流大会（参加選手・来場者数1,064人） 地域文化発信事業 ・奥の細道むすびの地「大垣」芭蕉蛤塚忌全国俳句大会（来場者数400人） ・福祉ふれあいボランティアフェスティバル（来場者数1,547人） ・中山道赤坂宿まつり（来場者数11,000人）	臨時 拡充

2 指標と目標

指 標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1 情報発信数（件）	目 標	基 準	136	144	153	161	170
	実 績	119	150	205	206	218	251
	自己評価		A	A	A	A	A
2 伝統文化親子教室の 実施団体数（団体）	目 標	基 準	20	21	21	22	22
	実 績	20	2	13	15	19	20
	自己評価		評価不能	評価不能	評価不能	B	B
総合評価			評価不能	評価不能	評価不能	B	B

【評価に関する考察】

指 標	考 察
1 情報発信数（件）	それぞれの催しにつき、広報・チラシ・HP・メールマガジン・SNSなど可能な限り多くの媒体で情報発信したため、情報発信数が増加した。 特に昨年と比べて、新聞掲載・記者発表に力を入れたことで、昨年度の数字を大幅に上回ることができた。
2 伝統文化親子教室の実施団体数（団体）	目標に達しなかったが、広報おおがき等で事業の周知を図ったことにより、実施団体が増加し、昨年度の数値を上回ることができた。 引き続き、様々な媒体を活用し、情報発信に努める。

基本目標 3	郷土の文化財や伝統文化の保護・継承を通して、ふるさとに愛着と誇りを持てる人づくりをめざします
--------	--

1 令和6年度事業計画

基本施策 1 文化財の保護・活用			
事業	計画	実績	
1 文化財保護・活用一般経費	文化財保護団体等への事業補助	指定文化財の保護活用・維持管理活動(23件)	
2 指定文化財管理事業	文化財の維持管理	・市天然記念物トネリコ樹勢回復作業 ・美濃国分寺跡の芝生等管理 ・昼飯大塚古墳の芝生等管理 ・美濃国分寺ARアプリの提供(ダウンロード数161件) ほか	
3 指定文化財営繕事業	指定文化財の営繕	・美濃国分寺跡歴史公園園内灯更新ほか	
4 文化財保護整備事業	文化財の補修、修復及び所有者が行う指定文化財の管理、補修等への支援	・住吉燈台外壁塗装工事 ・静里町塩田常夜燈燈図面作成 ・西高木家陣屋跡長屋門修繕工事 ・大垣祭軸(鯨軸)翁人形復元新調に対する補助 ・大橋家住宅塀修繕及び危険樹木伐採	臨時 臨時 臨時

		工事に対する補助 ほか	
5 美濃国分寺跡整備事業	美濃国分寺跡の整備及び 活用	・美濃国分寺跡歴史 公園整備予定地除 草	
6 文化財調査普及事業	史跡の保護及び活用	・市内遺跡試掘確認 調査（19件） ・矢道ハリヨ調査 ・金生山化石調査ほ か	
7 郷土・歴史施設管理事業	大垣城、墨俣一夜城、歴史 民俗資料館、郷土館、輪中 館・輪中生活館、金生山化 石館、赤坂歴史施設、上石 津郷土資料館の管理運営	大垣城、墨俣一夜城、 歴史民俗資料館、郷 土館、輪中館・輪中生 活館、金生山化石館、 赤坂歴史施設、上石 津郷土資料館の管理 運営 (入館者数：153,908 人)	
8 郷土・歴史施設企画事業	郷土・歴史施設における 文化遺産等の普及啓発	・講演会・講座の実 施(30事業、885人) ・大垣遺産アプリの 提供(ダウンロード数139件)	
9 郷土・歴史施設営繕事業	郷土・歴史施設の施設維 持のための修理等	・墨俣一夜城空調機 取替工事 ・輪中生活館自火報 設備機器更新工事 ほか	臨時 臨時
10 歴史民俗資料館長寿命 化事業	歴史民俗資料館の改修	外壁改修工事	新規

基本施策2 伝統文化の保護・継承			
	事業	計画	実績
	1 文化財保護・活用一般経費（再掲）	文化財保護団体等への事業補助	・青墓大太鼓踊りを 守る会ほか（5件）
	2 文化財保護整備事業（再掲）	大垣祭などの保護に関する補助	・大垣祭軋（鯨軋）翁 人形復元新調 ・大垣祭の軋行事踊り 子稽古等 ほか
基本施策3 先賢等の顕彰と後世への継承			
	事業	計画	実績
	1 所蔵美術品整備事業	美術品の収集・管理及び 所蔵作品の修復整備	・収蔵品燻蒸消毒 ・作品状態調査
	2 守屋多々志美術館美術 品整備事業	守屋多々志美術館所蔵・ 寄託作品の管理及び修復 整備	・作品修復（23点） ・収蔵品燻蒸消毒 （1回）
	3 奥の細道むすびの地記 念館展示事業	企画展等の実施	・常設展 （20,007人） ・企画展 （3回、7,153人） ・先賢館でのワーク シート学習 （小学校 16校）
	4 奥の細道むすびの地記 念館企画事業	奥の細道むすびの地記念 館に関する講座等を実施	・企画展関連講座 （2回、119人） ・おおがき芭蕉大学 （3回、155人） ・おおがき先賢大学 （3回、190人）

			・総合監修者講演会 (1回、47人)	
5	芭蕉生誕380年記念事業	芭蕉生誕380年記念に係る企画展・講座等を実施 佐藤勝明氏執筆の書籍の増訂版発行	・企画展 (1回、3,237人) ・企画展関連講座 (1回、45人) ・和装本づくり講座 (1回、29人) ・佐藤勝明氏執筆の書籍の増訂版発行	臨時
6	文化財保護・活用一般経費	文化財保護団体(顕彰)への事業補助	・梁川星巖、皇女和宮の顕彰活動(2件)	

2 指標と目標

指 標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1 歴史文化施設利用者数 (人)	目標	基準	153,200	155,400	157,700	159,900	162,200
	実績	148,783	77,064	89,498	140,633	147,975	153,908
	自己評価		評価不能	評価不能	B	B	B
2 歴史文化施設での企画 事業数 (件)	目標	基準	25	26	27	28	29
	実績	23	8	18	31	31	30
	自己評価		評価不能	評価不能	A	A	A
総合評価			評価不能	評価不能	B	B	B

【評価に関する考察】

指 標	考 察
1 歴史文化施設利用者数（人）	歴史文化施設の利用者は、展示や講座等の内容を工夫するとともに、SNSやチラシ等による情報発信に努めたことによりコロナ禍以前の水準に戻ったものの、目標値の人数までは伸びなかった。 団体客や学校見学の減少が主な要因であると考えられる。 引き続き、各施設の情報発信に努め、利用者の増加につなげたい。
2 歴史文化施設での企画事業数（件）	目標値を上回る数の企画事業が実施できた。 引き続き、文化財や伝統文化について学べるよう、歴史文化施設での事業を企画・実施していく。

基本目標 4	文化芸術に取り組める環境を整え、いきいきと活動できる人づくりをめざします
--------	--------------------------------------

1 令和 6 年度事業計画

基本施策 1 文化芸術を生涯楽しめる機会の充実			
事業	計画	実績	
1 文化振興一般経費	文化芸術団体が実施する事業への支援	文化フェスティバル等各種団体への補助(9件)	
2 芸術文化振興事業	音楽や芸術に関する事業の実施	・大垣市芸術祭 洋楽 (176人) 洋舞 (1,012人) 邦楽・邦舞 (400人) 拓本展 (56人) 名石展 (230人) 市民茶会 (244人) 美術展 (11,116点) 文芸祭 (1,657点) ・大垣音楽祭 市民団体の部 (17公演、3,453人) スプリングコンサート(高井理恵、光崎雅代ほか 295人) ・墨俣さくら会館応援アーティスト共催コンサート(4事業、来場者974人) ・墨俣さくら会館みんなのステージ (1事業、来場者240人)	

		・地域芸術家の学校 アウトリーチ事業 (小学校3校・788人、 中学校1校118人)	
3 音楽のまち推進事業 (再掲)	芸術文化事業の実施	水嶺湖音楽祭 ・ミュージックフェスティバル (参加者:動物の謝肉祭5組10人、音楽で辿る音楽村の30年6組58人、入場者:231人) ・合唱フェスティバル (参加者:9組127人、入場者:延べ220人) ・ジャズフェスティバル (参加者:10組49人、入場者:延べ300人) ・田村響ピアノ公開レッスン(受講生6人、聴講生19人) ・ピアノの音楽会～ピアノ弾き込みボランティアコンサート (出演者7人、入場者111人)	

4 日本昭和音楽村開館30周年記念事業 (再掲)	日本昭和音楽村開館30周年を記念し、文化芸術事業の実施	音楽村開館30周年記念事業 ・# (ハッシュタグ) 音楽村30チャレンジ (参加者30団体・個人、発信件数34件) ・祝654フェス～みんなで音楽を楽しもう～ (入場者150人) ・海上自衛隊東京音楽隊演奏会 (入場者235人) ・Y o u t u b e r 等によるストリートピアノライブ・音楽村PR動画制作 (ライブ収録入場者98人、ストリートピアノライブ入場者48人、制作動画数計18本) ・山中千尋ピアノトリオジャズコンサート (入場者202人) ・辻彩奈ヴァイオリン・リサイタル (入場者171人) 上石津学園との連携事業の実施 ・祝上石津学園開校記念演奏会 (入場者485人)	臨時
-------------------------------------	------------------------------------	---	-----------

		・ Y o u t u b e r 等による上石津学園シークレットライブ（入場者 271 人） ・ 山中千尋ピアノトリオジャズライブ i n 上石津学園（入場者 271 人）	
4 次世代のクリエイター育成事業 （指定管理者指定事業）	企業連携等による各種体験教室の実施	・ 市民科学講座（3回、412人） ・ 市民天体教室（78回、2,136人） ・ おもしろ科学教室（12回、254人） ・ 科学大好きセミナー（8回、301人） ・ わくわく科学体験事業（7日間、455人）	
5 高齢者いきいきライフ事業 （指定管理者指定事業）	ワークショップの実施	・ 文化講演会「池上彰講演会「ニュースから世界を読む」」（571 人） ・ バリアフリーコンサート「ウーノのピアノ音楽会」（138 人）	
6 俳句文化振興事業 （俳句楽校事業）	生涯にわたり俳句を楽しめる事業の実施	・ 十六万市民投句（21,527句） ・ 芭蕉蛤塚忌（30,715 句） ・ 三尺俳句（4回、14 人） ・ 英語俳句（3回、5人）	

7 守屋多々志美術館自主事業	守屋多々志美術館における企画展の開催及び講座の実施	・企画展 (5回、5,315人) ・講演会 (1回、35人) ・絵手紙講座 (8回、149人) ・日本画教室 (3回、42人) ・子ども鑑賞会・ワークショップ (6回、80人) ・美術館アウトリーチ事業 (2回、120人)	
基本施策2 文化芸術活動施設の利用環境の充実			
事業	計画	実績	
1 市民会館解体事業	市民会館の解体工事など	市民会館解体工事 (出来高37.8%)	臨時
2 学習館・文化会館管理事業	文化芸術事業の実施及び施設の管理運営	学習館・文化会館の管理運営 (利用者：536,325)	
3 学習館・文化会館長寿命化事業	文化芸術施設の改修	・文化会館文化ホール東トイレ改修 ・学習館南棟・こどもサイエンスプラザ外壁ほか改修 ・文化会館1、2階トイレ改修	臨時
4 墨俣さくら会館管理事業	文化芸術施設の管理運営	墨俣さくら会館の管理運営 (利用者：32,854)	

6 文化振興

5 文化施設営繕事業	文化芸術施設の営繕	・墨俣さくら会館文化ホール舞台機構装置更新 ・スイトピアセンター駐車場監視カメラ設備設置 ・学習館スプリンクラ一設備用制御盤更新	臨時 臨時 臨時
6 守屋多々志美術館管理事業	文化芸術事業の実施及び施設の管理運営	守屋多々志美術館の管理運営 (利用者：5,315人)	
7 日本昭和音楽村営繕事業	文化芸術施設の営繕	・日本昭和音楽村 江口夜詩記念館熱源機取替工事 ・日本昭和音楽村 自動制御機器修繕工事 ほか	臨時 臨時

2 指標と目標

指標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1 市民団体との協働数 (件)	目標	基準	70	71	72	73	74
	実績	68	42	55	55	59	61
	自己評価		—	—	—	B	B
2 文化芸術関係施設 利用者数（人）	目標	基準	904,200	905,200	906,200	907,200	793,100
	実績	902,223	260,824	435,156	545,043	624,048	614,602
	自己評価		評価不能	評価不能	評価不能	D	C
総合評価			評価不能	評価不能	評価不能	C	C

【令和6年度に「指標2」目標値を変更】

令和6年4月に市民会館を廃止したため当初の目標から、令和6年度の市民会館利用者数を減。(変更前：908,300人)

【評価に関する考察】

指 標	考 察
1 市民団体との協働数 (件)	文化財保護や文化芸術団体（市民団体）を支援したほか、各種イベント等において積極的に関連団体との連携を図った結果、協働事業数が増加した。
2 文化芸術関係施設利用者数 (人)	コロナ禍の影響は強く、一部の利用団体では、コロナ禍後に活動再開の見込みが立たず解散しているような状態で、現状のままでは利用者が回復する見込みはなく、目標数値達成が困難な状況である。 今後は、通常の施設運営以外に、一層質の高い芸術に触れる機会や、文化財の活用、イベントの企画を進めていくとともに、SNS等も活用したPRも展開していき、施設の充実を図る。

7 図書館活用

基本目標 1	読書活動を推進し、夢に向かって挑戦し努力する人づくりをめざします
--------	----------------------------------

1 令和6年度事業計画

基本施策1 図書館における読書活動の推進			
事業	計画	実績	
1 読書活動推進事業	読書講演会や読み聞かせ会や図書展示等の実施	・読書講演会（『えんとつ町のプペル』を題材とした朗読劇 ・文学講座 ・定期的な読み聞かせ（1,285人）	
基本施策2 子どもの感性や人間性を育む読書活動の支援			
事業	計画	実績	
1 読書活動推進事業	園・学校連携事業や図書館見学、留守家庭児童教室への図書貸出し等の実施	・学校見学（延べ12校、548人） ・留守家庭児童教室への貸出（5,925冊） ・小学校2校で「校内図書館まつり」を共催 ・職場体験	
	絵本（電子書籍）の提供	・電子絵本の提供（470冊）	
2 ブックスタート事業	親子に絵本や読み聞かせの楽しさと方法を伝えるための事業の実施	・ブックスタートパック配布（881人分） ・ブックスタートの読み聞かせ実演 ・乳幼児対象のおはなし会「おひざでだっこ」（1,336人）	

基本施策3 地域における読書活動の推進

事業	計画	実績
1 読書活動推進事業	地域文庫の設置	地区センター等27か所の 地域文庫に本を設置（年 1回程度、一部の本を入 替） （総設置冊数 10,478冊）

2 指標と目標

指標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1 貸出し冊数（冊）	目標	基準	661,100	673,200	685,300	697,400	709,500
	実績	636,749	573,755	700,841	742,194	735,776	717,334
	自己評価	評価不能		A	A	A	A
2 児童書の貸出し冊数（冊）	目標	基準	247,800	248,600	249,400	250,200	251,000
	実績	246,125	218,486	281,802	297,827	290,256	280,560
	自己評価	評価不能		A	A	A	A
総合評価			評価不能	A	A	A	A

自己評価	A:目標達成 B:達成率80%以上 C:達成率70%以上 D:達成率70%未満
総合評価	A:順調に達成している B:概ね順調に達成している C:達成に向け課題がある D:順調でない

【評価に関する考察】

指 標	考 察
1 貸出し冊数（冊）	目標は達成しているが、前年度比 18,442 冊減少した。図書館システム更新等による開館日の減少（前年度比 3 日減少）が要因の一つとして考えられる。 また、文化庁の調査によると、読書量が減った理由として「スマホやパソコンなどの情報機器に時間がとられる」という回答が多く、余暇時間の変化が影響していると思われる。 今後も図書の展示を工夫するとともに、新刊やおすすめ図書、図書館のサービス（商業施設内の返却ポストなど）、図書館のイベント等の一層の周知に努める。
2 児童書の貸出し冊数（冊）	目標は達成しているが、前年度比 9,696 冊減少した。図書館システム更新等による開館日の減少（前年度比 3 日減少）が要因の一つとして考えられる。 また、文化庁の調査によると、読書量が減った理由として「スマホやパソコンなどの情報機器に時間がとられる」という回答が多く、余暇時間の変化が影響していると思われる。 今後も図書の展示を工夫するとともに、新刊やおすすめ図書、図書館のサービス（商業施設内の返却ポストなど）、図書館のイベント等の一層の周知に努める。

基本目標 2

図書館サービスを充実し、多様化する社会を心豊かに生きる人づくりをめざします

1 令和6年度事業計画

基本施策 1 多様なサービスの推進

事業	計画	実績
1 図書館情報総合管理システム事業	I C Tを活用した効率的な貸出	・予約、リクエストサービス（115,848冊） ・相互貸借サービス 貸出： 927冊 借受：1,948冊 ・各種カードを利用した貸出 ① F e l i c a （新規登録2件） ②マイナンバーカード （新規登録5件） ・スマートフォンを利用した貸出し ・利用者登録事前申込
2 読書活動推進事業	読書記録の推進	・読書手帳：112冊 ・読書ノート：52冊 ・読書メーター （読書記録W e b サービス）との連携

基本施策2 積極的な情報発信

事業	計画	実績
1 読書活動推進事業	広報誌の発行	・各広報誌を発行 (発行号あたり580部) ①大垣市図書館だより (毎月発行) ②新着案内『本の泉』 (毎月発行) ③児童図書新着案内『ポケット』(毎月発行) ④YA(ヤングアダルト)通信『むすび』(毎月発行) ⑤おすすめ絵本紹介『ぶっくんつうしん』 (季刊発行) ⑥『郷土資料室便り』 (季刊発行) ・図書館ホームページ、デジタルサイネージ(随時)
	SNSを活用した情報発信(随時)	・大垣市図書館のFacebook、Instagramによる各種行事等の情報発信(随時) ・市公式LINEを活用した情報発信(随時)

基本施策3 デジタル資料・情報の充実

事業	計画	実績
1 図書整備事業	データベース閲覧サービスの提供	・官報情報検索サービス ・新聞記事データベース(毎日、中日、岐阜) ・国会図書館デジタル化資料送信サービス

2 読書活動推進事業	絵本（電子書籍）の提供	・ 電子書籍の提供 （210冊） ・ 電子絵本の提供 （470冊）（再掲）	
基本施策4 サービス拠点の充実			
事業	計画	実績	
1 読書活動推進事業	予約図書配本サービスの実施	地区センターや市民サービスセンター等19か所へ配本 ・ 件数 10,981件 ・ 冊数 22,888冊	
	市民サービスセンター（南部、大垣駅北）における図書返却ポストの設置	返却冊数 ・ 南部 2,444冊 ・ 駅北 10,983冊	拡充

2 指標と目標

指標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1 図書館ホームページアクセス件数（件）	目標	基準	205,000	206,000	207,000	208,000	209,000
	実績	203,000	250,643	282,470	259,720	262,634	257,842
	自己評価		A	A	A	A	A
2 外国人利用登録者数（人）	目標	基準	1,091	1,119	1,146	1,173	1,200
	実績	1,037	1,043	1,034	1,051	1,036	1,024
	自己評価		評価不能	B	B	B	B
3 予約図書の配本冊数（冊）	目標	基準	21,400	21,800	22,200	22,600	23,000
	実績	20,518	20,582	21,991	21,918	21,837	22,888
	自己評価		評価不能	A	B	B	B
総合評価			評価不能	A	B	B	B

【評価に関する考察】

指 標	考 察
1 図書館ホームページアクセス件数（件）	目標は達成しているが、前年度比 4,792 件減少した。図書館システムの改修に合わせてホームページを令和 6 年 11 月に大幅に刷新し、トップ画面にお知らせを画像付きで表示するとともに、新たにこどものページを作成するなど、情報をより分かりやすく周知できるようにした。 今後も、Facebook、Instagram など主要 SNS も活用し、定期的な情報発信に努める。
2 外国人利用登録者数（人）	大垣国際交流協会と連携し、外国語の利用案内を配布するとともに、年に数回、国際交流協会の方が外国人の方と一緒に図書館内を見学する等の対応は行ったが、目標に達することが出来なかった。 引き続き国際交流協会と連携した取り組みを行う。
3 予約図書の配本冊数（冊）	目標には達しなかったが、前年度比 1,051 冊増加した。これは、大垣駅北サービスセンター等の商業施設内のサービスセンターで利用が増加したためと考えられる。 今後も、配本サービス制度の一層の周知に努める。

基本目標 3	郷土資料の活用を推進し、郷土愛のある人づくりをめざします
--------	------------------------------

1 令和6年度事業計画

基本施策１ 郷土資料の収集・整備				
事業		計画	実績	
1 郷土資料整備事業		郷土に関する資料・情報を体系的に整理し、デジタルデータとして整備	・ 目録の発行 (1)「大垣市史通史編 近現代」収集写真目録 (6) (2)郷土資料目録 第44集 ・ 映像資料のデジタル化 (32本)	

基本施策２ 郷土資料の公開・活用				
事業		計画	実績	
1 郷土資料活用事業		デジタル化した古文書・古地図・古写真などの郷土の歴史資料を展示・公開	・ 古地図レプリカ資料の活用 (1)上石津・墨俣図書館での展示 (2)図書館見学の紹介 ・ 「水の都大垣学習コーナー」(子ども向け特別展示・一般向け常設展示)の開催	

基本施策3 郷土を学ぶ機会の提供			
事業		計画	実績
1 ふるさと大垣学習事業		出前講座や歴史講座などの開催	・ 学ぶ大垣講座 (8回 会場297人、オンライン145人) ・ ふるさと古文書講座 (10回、会場 478人、オンライン174人) ・ 出前講座 (13回) への出向 ・ 郷土資料のテーマ展示及びミュージアム展示ガイド・ポケット学芸員による展示ガイダンス (年4回)

2 指標と目標

指標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1 ふるさと歴史講座 参加者数（人）	目標	基準	1,080	1,088	1,095	1,103	1,110
	実績	1,065	443	580	1,458	1,109	1,094
	自己評価		評価不能	評価不能	A	A	B
2 郷土資料デジタル ライブラリー閲覧件数 （人）	目標	基準	1,480	1,570	1,660	1,750	1,840
	実績	1,300	1,845	1,864	1,850	1,793	2,010
	自己評価		A	A	A	A	A
総合評価			評価不能	評価不能	A	A	B

【評価に関する考察】

指 標	考 察
1 ふるさと歴史講座参加者数（人）	オンライン受講者が前年度より減少し、目標を達成できなかった。 これまでの講座は受講者が固定化し、講座内容が上級者向きになっている。 今後、初級者向けの講座を開設する等、多くの方の興味関心を引く講座の開催に努める。
2 郷土資料デジタルライブラリー閲覧件数(人)	古地図等、郷土資料の展示といった取組の結果、図書館HPのデジタルライブラリー閲覧件数が前年度より、217件増加し、目標を達成した。 今後も、展示や講座に連携した内容の充実に努める。

基本目標 4	魅力ある資料や情報を提供し、かがやき続ける人づくりをめざします
--------	---------------------------------

1 令和6年度事業計画

基本施策1 魅力ある資料の収集・充実			
	事業	計画	実績
1	図書整備事業	幅広い分野の資料収集	図書購入 11,279冊
基本施策2 レファレンスサービスの充実			
	事業	計画	実績
1	図書館情報総合管理システム事業	調べもの案内や、資料・情報探しの補助を行うレファレンスサービスの実施	レファレンスデータベースの公開 280件
基本施策3 市民と共に行う図書館運営			
	事業	計画	実績
1	図書館一般経費	図書館運営に関する意見聴取	・利用者アンケートの実施(501人回答) ・図書館協議会(3回)
基本施策4 施設・設備の整備			
	事業	計画	実績
1	図書館管理事業	大垣市立図書館施設の管理運営	大垣市立図書館設備の管理運営 (入館者 282,789人) 墨俣図書館施設の管理運営 (入館者 14,888人)
2	上石津図書館管理事業	上石津図書館施設の管理運営	上石津図書館施設の管理運営

			(入館者 7,477人)	
3	図書館営繕事業	図書館施設の営繕	大垣市立図書館外壁 保守点検委託ほか	臨時
4	図書館施設長寿命化事業	図書館施設の改修	大垣市立図書館高置 水槽取換工事ほか	臨時

2 指標と目標

指 標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1 図書館利用目的達成度 (%)	目標	基準	91.8	92.4	92.9	93.5	94.0
	実績	90.7	92.2	90.5	93.3	94.0	93.4
	自己評価		A	B	A	A	B
2 生活関連資料の貸出し 冊数（冊）	目標	基準	180,900	184,500	188,100	191,700	195,300
	実績	173,209	153,186	180,737	197,395	196,356	191,900
	自己評価		評価不能	B	A	A	B
総合評価			評価不能	B	A	A	B

【評価に関する考察】

指 標	考 察
1 図書館利用目的達成度（％）	目標は達成しておらず、前年度から 0.6 ポイント下がった。市民が不満とするのは、「予約した新刊本がなかなか借りられない」等の理由である。 今後も利用者ニーズを把握し、満足度の向上に努める。
2 生活関連資料の貸出し冊数（冊）	目標は達成しておらず、前年度比 4,456 冊減少した。図書館システム更新等による開館日の減少（前年度比 3 日減少）が要因の一つとして考えられる。 今後も魅力ある資料の収集・充実を図るとともに、図書の展示方法を工夫するなど、貸出冊数の増加に努める。

8 スポーツ推進

基本目標 1	スポーツ活動を充実し、夢や目標に向かって挑戦する人づくりをめざします
--------	------------------------------------

1 令和6年度事業計画

基本施策1 子どものスポーツ活動のきっかけづくり			
事業	計画	実績	
1 コミュニティスポーツ振興事業 (指定管理者指定事業)	子どもが参加できるスポーツ大会・イベントの開催	・市民総合体育大会 (18,500人) ・OGAKIスポーツフェスティバル (1,000人)	
2 コミュニティスポーツ振興事業 (指定管理者指定事業)	地域コミュニティスポーツ活動、ヘルシーウォーク、スポーツイベント等開催に対する支援	・地域コミュニティスポーツ活動 (34回、3,112人) ・ヘルシーウォーク (162回、4,640人) ・軽スポーツイベント (3回、385人)	
3 体育施設管理事業 (指定管理者指定事業)	幼児を含む子どもを対象にしたスポーツ教室の開催	・おおがきっずスポーツスクール (194人) ・おおがきっずスポーツスクール3-6年生コース (90人) ・垣っ子ひろば (100人) ・わんぱく体操 (親子39人) ・お父さんといっしょ (54人)	

基本施策2 少年期のスポーツ活動の充実			
事業	計画	実績	
1 少年スポーツ賞授与事業	優秀な成績を収めた児童生徒に対する少年スポーツ賞の授与	・ 栄誉賞 団体4件、個人10人 ・ 優秀賞 団体22件、個人26人 ・ 奨励賞 団体6件、個人10人	
2 少年スポーツ活動推進事業	スポーツ少年団の活動への支援	サッカー、剣道、健民など(22種目、72団体)	
基本施策3 選手の育成・支援			
事業	計画	実績	
1 スポーツ大会等出場 激励事業	全国大会等に出場する選手等への激励金の交付	激励金交付(326件： 個人287人、団体39件)	
2 スポーツ団体育成事業	体育連盟加盟団体のジュニア選手強化に対する支援	陸上競技協会、水泳連盟など (18競技種目団体)	
基本施策4 競技団体の活動支援			
事業	計画	実績	
1 スポーツ団体育成事業	体育連盟加盟団体の活動に対する支援	加盟団体の競技力向上のため育成、強化支援(40加盟団体)	

2 指標と目標

指 標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1 小中学生スポーツ活動 実施率（％）	目標	基準	63.0	63.5	64.0	64.5	65.0
	実績	62.1	63.8	64.3	65.0	66.4	76.5
	自己評価		A	A	A	A	A
2 全国・国際大会等への 出場者数（件）	目標	基準	316	317	318	319	320
	実績	315	33	156	227	325	326
	自己評価		評価不能	評価不能	C	A	A
総合評価			評価不能	評価不能	B	A	A

自己評価	A:目標達成 B:達成率80%以上 C:達成率70%以上 D:達成率70%未満	
総合評価	A:順調に達成している B:概ね順調に達成している C:達成に向け課題がある D:順調でない	

【評価に関する考察】

指 標	考 察
1 小中学生スポーツ活動実施率（％）	昼休み等の有効活用、地域イベントへの参加呼びかけ等の結果、スポーツへの意識が高まり、前年度に比べ、10.1ポイント上昇したと思われる。 引き続き、子どもの頃からスポーツに触れる機会の提供に努める。
2 全国・国際大会等への出場者数（件）	競技団体へ強化費の支援や、優先的な施設利用による、強化活動に力を入れることができた。 また、多くの大会が開催され、他市町のスポーツ団体に所属する市内選手が全国大会に出場するケースが増加、多岐にわたる競技（種目）での出場の機会が増えたことが考えられる。

基本目標 2	スポーツを通じた交流の場を提供し、互いに認め合う、心豊かな人づくりをめざします
--------	---

1 令和6年度事業計画

基本施策1 スポーツをささえる担い手づくり			
事業	計画	実績	
1 スポーツ団体育成事業	体育連盟加盟団体の活動に対する支援	体育連盟加盟団体活動支援 県民スポーツ大会に出場した競技種目数 (39種目) 競技人数 (574人)	
2 少年スポーツ活動推進事業	スポーツ少年団の指導者育成に対する支援 体育・スポーツ指導者に対する研修会や講習会等の開催	日本スポーツ協会公認資格取得事業補助 (55人)	
基本施策2 スポーツ交流の実施			
事業	計画	実績	
1 国際スポーツ交流推進事業	フレンドリーシティとの交流の実施・支援	・韓国昌原市との青少年スポーツ相互交流事業 (中止) ・ドイツ シュツットガルト市との青少年・指導者スポーツ交流事業	
2 スポーツイベント推進事業	MAG-CUP 少年サッカー交流大会への支援	市内3チームに参加 大会開催負担金を支出	

基本施策3 競技団体による競技大会開催等への支援

事業	計画	実績
1 スポーツ団体育成事業 (再掲)	体育連盟加盟団体の活動に対する支援	県民スポーツ大会に出場する選手強化に対する支援 (39競技種目団体)
2 スポーツイベント推進事業	各種競技団体等による競技大会の開催に対する支援	・ ベーブルース杯社会人野球大会、水の都杯9人制バレーボール選抜優勝大会、県中学校選抜軟式野球大会、市民登山大会ほか ・ 全国高校サッカー選抜大垣大会、西濃綱引選手権大会ほか

2 指標と目標

指標	年度		H30	R2	R3	R4	R5	R6
1 日本スポーツ協会公認 指導者新資格の登録 者数（人）※目標値及び実績 値は、毎年度の累計値です。	目標	基準	42	84	126	168	200	
	実績	－	74	122	159	213	268	
	自己評価		A	A	A	A	A	
2 県民スポーツ大会での 総合優勝の継続（位） 【自己評価】 A：1位 B：2位 C：3位 D：4位以下	目標	基準	1	1	1	1	1	
	実績	1	中止	中止	1	1	1	
	自己評価		評価不能	評価不能	A	A	A	
総合評価				評価不能	評価不能	A	A	A

【評価に関する考察】

指 標	考 察
1 日本スポーツ協会公認指導者新資格の登録者数(人)	教育委員会や体育連盟から、部活動の地域展開もふまえて競技団体へ積極的な周知を行い、大幅に登録者数が増加した。 資格取得に係る費用について、継続者の更新も含めた半額補助も有効であると思われる、今後も継続して行っていく。
2 県民スポーツ大会での総合優勝の継続(位)	練習場所の無料開放や、参加費・交通費の援助等、各競技団体に対する支援が有効であると思われる。 また、各種競技団体による出場選手集め等が功を奏している。 各種協議団体の意識も高く、連覇を合言葉にして市としてまとまりがあると感じる。

基本目標 3	地域に根ざしたスポーツ活動を推進し、郷土愛のある人づくりをめざします
--------	------------------------------------

1 令和6年度事業計画

基本施策1 地域スポーツ活動への支援			
事業	計画	実績	
1 コミュニティスポーツ振興事業 (指定管理者指定事業)	地域ぐるみで参加できるスポーツ大会・イベントの開催	・市民総合体育大会 (18,500人) ・OGAKIスポーツフェスティバル (1,000人)	
2 コミュニティスポーツ振興事業 (指定管理者指定事業)	地域コミュニティスポーツ活動、ヘルシーウォーク、スポーツイベント等開催に対する支援	・地域コミュニティスポーツ活動 (34回、3,112人) ・ヘルシーウォーク (162回、4,640人) ・軽スポーツイベント (3回、385人)	
	地域スポーツクラブの設立に向けた支援	赤坂地区（令和6年度～7年度）	
基本施策2 関係団体との連携充実			
事業	計画	実績	
1 スポーツ団体育成事業	体育連盟加盟団体の活動に対する支援	加盟団体の競技力向上のため育成、強化支援（40加盟団体）	
2 スポーツ推進委員事業	スポーツ推進委員の活動（研究大会、研修会等参加）に対する支援	スポーツ推進活動に対する支援（63人） コミュニティスポーツ活動普及のためモルックの研修会を実施	

基本施策3 広報活動の充実			
事業		計画	実績
1	体育施設管理事業 (指定管理者指定事業)	体育施設の管理運営	スポーツ教室など HP、SNSに掲載

2 指標と目標

指 標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1 コミュニティスポーツ 参加者数（人）	目 標	基 準	12,920	12,990	13,060	13,130	13,200
	実 績	12,781	2,478	3,702	7,219	8,680	8,137
	自己評価		評価不能	評価不能	評価不能	D	D
2 意識的に運動（週1回 以上）している人の割合 （％）	目 標	基 準	43.6	44.7	45.8	46.9	48.0
	実 績	41.6	50.1	51.2	51.3	51.8	51.6
	自己評価		A	A	A	A	A
総合評価			評価不能	評価不能	評価不能	C	C

【評価に関する考察】

指標	考察
1 コミュニティスポーツ参加者数(人)	軽スポーツ教室(モルック)を新設し参加者の増加に努めたが、各地域で開催されているスポーツイベントへの参加人数が大きく減少し、目標の達成には至らなかった。 今後も、新しい軽スポーツイベントの開催や他地域での開催イベントの参加を呼びかけていく。
2 意識的に運動(週1回以上)している人の割合(%)	地域で開催しているスポーツイベントの周知などの結果、目標を達成することができた。引き続き、運動する機会の提供に努める。

基本目標 4	スポーツができる環境を整備し、生涯いきいきとスポーツする健康な人づくりをめざします
--------	---

1 令和6年度事業計画

基本施策1 スポーツの楽しさを知る機会の提供			
事業	計画	実績	
1 コミュニティスポーツ振興事業 (指定管理者指定事業)	体を動かすことの楽しさを知る機会を提供するスポーツ大会・イベントの開催	・市民総合体育大会 (18,500人) ・OGAKIスポーツフェスティバル (1,000人)	
2 コミュニティスポーツ振興事業(再掲) (指定管理者指定事業)	地域コミュニティスポーツ活動、ヘルシーウォーク、スポーツイベント等開催に対する支援	・地域コミュニティスポーツ活動 (34回、3,112人) ・ヘルシーウォーク (162回、4,640人) ・軽スポーツイベント (3回、385人)	
基本施策2 誰もがスポーツに参加できる機会づくり			
事業	計画	実績	
1 コミュニティスポーツ振興事業 (指定管理者指定事業)	誰もがスポーツに参加できる機会を提供するスポーツ大会・イベントの開催	・市民総合体育大会 (18,500人) ・OGAKIスポーツフェスティバル (1,000人)	
2 コミュニティスポーツ振興事業(再掲) (指定管理者指定事業)	地域コミュニティスポーツ活動、ヘルシーウォーク、スポーツイベント等開催に対する支援	・地域コミュニティスポーツ活動 (34回、3,112人) ・ヘルシーウォーク (162回、4,640人)	

			・コミュニティスポーツ活動普及のため モルックの研修会 を実施	
基本施策3 スポーツ習慣の継続と定着				
	事業	計画	実績	
	1 体育施設管理事業 (指定管理者指定事業)	スポーツ教室の充実	スポーツ教室の実施 (127 教室 3,499 人)	
	2 学校体育施設開放事業	身近なスポーツ活動の 場としての、小中学校等 の体育館やグラウンド の開放	小中学校等の体育館 やグラウンドの開放 (17,490件)	
基本施策4 高齢者や障がいのある人のスポーツ活動の普及				
	事業	計画	実績	
	1 コミュニティスポーツ 振興事業 (指定管理者指定事業)	高齢者や障がいのある 人が参加できるスポー ツ大会・イベントの開催	・市民総合体育大会 (グラウンドゴルフ 18校区、144人) ・OGAKI スポーツ フェスティバル (理 学療法士による健 康相談会、体力測 定) ・OGAKI スポーツ フェスティバル (障 がい者スポーツの PR コーナー)	
	2 コミュニティスポーツ 振興事業 (再掲) (指定管理者指定事業)	地域コミュニティスポ ーツ活動、ヘルシーウォ ーク、スポーツイベント 等開催に対する支援	・地域コミュニティス ポーツ活動 (34回、3,112人)	

		・ヘルシーウォーク (162回、4,640人) ・コミュニティスポーツ活動普及のため モルックの研修会 を実施	
3	スポーツ推進委員事業	スポーツ推進委員の活動に対する支援	スポーツ推進委員モルック研修会 (33人)
4	スポーツイベント推進事業	各種競技団体等による競技大会の開催に対する支援	・市長杯争奪グラウンドゴルフ大会 ・奥の細道シニアソフトテニス大会 ・市長杯争奪ゲートボール大会

基本施策5 体育施設の整備・充実

事業	計画	実績	
1 体育施設管理一般経費	体育施設の維持管理	総合体育館、大垣市武道館、大垣城ホールほか14施設の維持運営 (利用者：825,917人)	
2 体育施設管理事業 (指定管理者指定事業)	体育施設の管理運営	総合体育館、大垣市武道館、大垣城ホールほか14施設の管理運営	
3 体育施設営繕事業	体育施設の営繕	・浅中公園総合グラウンド陸上競技場第3種公認更新工事 ・墨俣庭球場改修工事 ほか	臨時 臨時
4 体育施設長寿命化事業	体育施設の営繕	武道館吸収冷凍機整備工事 ほか	臨時
5 学校体育施設営繕事業	学校体育施設の営繕	青墓小学校グラウンド 夜間照明ランプ取替工事 ほか	

2 指標と目標

指 標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1 スポーツ教室への参加者数（人）	目標	基準	5, 224	5, 243	5, 262	5, 281	5, 300
	実績	5, 186	2, 292	3, 525	3, 936	4, 877	5, 039
	自己評価		評価不能	評価不能	評価不能	B	B
2 体育施設の利用者数 （学校体育施設を含む） （人）	目標	基準	1, 411, 440	1, 417, 455	1, 423, 470	1, 429, 485	1, 435, 500
	実績	1, 399, 410	683, 500	832, 208	1, 163, 377	1, 297, 185	1, 344, 425
	自己評価		評価不能	評価不能	B	B	B
総合評価			評価不能	評価不能	評価不能	B	B

【評価に関する考察】

指 標	考 察
1 スポーツ教室への参加者数（人）	目標達成には達していないが、武道館に多目的ホールを新設するなどした結果、参加者数は増加傾向にある。 今後も、各世代のニーズに合わせた教室や、ターゲット世代を絞った教室の開講を検討していく。
2 体育施設の利用者数（学校体育施設を含む）（人）	目標には達していないが、学校体育施設の利用団体が増えた結果、前年度から大幅に利用者が増えている。 今後も、利用者のニーズを把握するとともに、情報発信に努める。

9 大垣市教育振興基本計画策定・評価委員会の審議結果について

(1) 評価委員

委員長 長谷川 哲也

副委員長 田村 弘司

区 分	氏 名	備 考
学識経験者	長谷川 哲 也	岐阜大学教育学部
学識経験者	田 村 弘 司	大垣市図書館協議会
教育活動関係者	渡 邊 友 三 郎	大垣市小中校長会
教育活動関係者	佐 野 篤	大垣市社会教育委員の会
教育活動関係者	三 代 広 子	大垣市子ども会育成連絡協議会
教育活動関係者	廣 瀬 龍 祥	大垣市文化財保護協会
教育活動関係者	川 合 麻 美	(公財)大垣市体育連盟 生涯スポーツ振興委員会
市民公募委員	山 崎 幸 輝	

(敬称略)

(2) 開催経過

① 第1回会議

1 と き 令和7年7月25日(木) 15:00～17:00

2 と ころ 大垣市役所6階 6-3、6-4 会議室

3 議 題 (1) 大垣市第2次教育振興基本計画等について
 (2) 学校教育について
 (3) 文化振興について

4 出席者 8人

5 傍聴者 1人

② 第2回会議

- 1 と き 令和7年7月30日(水) 10:00～12:00
- 2 ところ 大垣市役所6階 6-3、6-4 会議室
- 3 議 題 (1) 社会教育について
(2) 図書館活用について
(3) スポーツ推進について
- 4 出席者 8人
- 5 傍聴者 0人

(3) 評価委員会での主な意見等

- ・運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合が伸びていない。幼児期から運動することを習慣化する必要があるのではないか。
- ・多くの指標でコロナ禍前の実績に戻りつつあるが、価値観が変容している。今後、考察する際には、実績は目標に達していないが満足度は高いなどの質的な考察も入れるべきではないか。
- ・英語教育など、他市町と比べても、大垣市は教育に力を入れていると感じる。PRをしても良いのではないか。
- ・図書館は本を借りるだけの場所ではなく、借りなくても行く「滞在型の図書館」をどのように構築するかを検討すべきではないか。
- ・スポーツ分野は、民間スポーツ施設なども多くあり、どこまで行政が保障すべきかが難しい分野だが、子ども達がスポーツにふれる機会を提供することに焦点化すべきだと考える。

**大垣市第2次教育振興基本計画 分野別振興計画
令和6年度実施状況報告書**

令和7年9月

発行 岐阜県大垣市教育委員会

編集 事務局庶務課

岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地

電話 (0584) 47-8022